

〔曲名〕 Impressioni d'Oriente

東洋の印象 第二組曲

1.Canto d'Amore e Fantasia

愛と歌と幻想曲

2.Crepuscolo

黄昏

3.Nel Bazar

市場にて

〔曲種〕 Suite

組曲

〔作曲者〕 Amedeo Amadei

アメデオ アマディ

〔編曲者〕 Jiro Nakano

中野 二郎

1866年12月9日イタリア・ロレートに生まれ、1935年6月16日トリノーに逝いた作曲家で管弦楽指揮者。

始め父ロベルト（1840-1913）に学び、その後ボローニアのアカデミア、フィラルモニカを卒業、

オルガニスト又合唱指揮者として活躍したが、1889年歩兵第七十三連隊楽長を拝命以来、各地軍楽隊学長を歴任して、

退役後はトリノーに定住して指揮者として、又教授として音楽各方面に尽くした。

作品も多岐に亘（わた）り数種のオペレッタ管弦楽曲、吹奏楽曲、歌曲、ピアノ曲、室内楽曲、マンドリン合奏曲を含めて約五百曲がある。

1909年イル・プレットロ誌主催の作曲コンクールに提出された海の組曲は一位に入賞、以来マンドリン楽の至宝として親しまれている。

このほかに四十以上の各種作曲コンクールに入賞し、

マンドリン楽への作曲編曲だけでも九十曲以上が挙げられると云うことはマンドリン楽への愛着が並々でなかった証拠と云えよう。

彼の貢献はマンドリン音楽の独創性を把握して、マンドリン本来の表現の能力に対して何等の特殊技巧

を施すことなく、

快適な自然な表現を完うし、イタリア人の明朗なロマンティズムを滋味掬すべき旋律に托し、各楽器結合の妙味、

音色に対する優れた感覚、対比旋律の巧みな配置、之らが渾然と総合されて、マンドリン学独自の世界を想像したことにある。

最近アマディの未亡人及娘カルラと連絡がとれ、いくつかの管弦楽を知ることができた。

OP.205 田園組曲 黄昏、森にて、アンジェラスの鐘、サルタレロ

OP.350 組曲 中世修道士 巡回、愛のワルツ、朝の曲、謝肉祭の行列

OP.413 東洋の印象 第一組曲 眺望、エジプトの舞姫、キャラバン

OP.414 東洋の印象 第二組曲 愛と歌と幻想曲、黄昏、市場にて

OP.335 組曲 吟遊詩人 供奉、若き修道士の歌、愛の夢、結婚祝典

OP.462 北欧のスケッチ 遙かなる未知の国への旅、懐郷のワルツ、ロシア舞曲

このうち組曲北欧のスケッチは先に紹介したので東洋の印象第二組曲及吟遊詩人の第三、四楽章を紹介する。

東洋とは地理的に日本などより遙かに近い中近東を指すもので、

回教徒圏の異国趣味が作曲家の意欲をそそり一種の流行のような形をとった時期があったが、そのころの作品のように思われる。

之は単調のリズムとムーア風の音階に特徴があり、市場にて、では雑然とした喧騒を描いたものであろう。

吟遊詩人組曲を三、四楽章のみとしたのは一、二楽章が入手出来なかった為で、今後入手の見通しは暗く、

それにしても佳曲であるので、之も加えた。

彼の代表作と云われるこの組曲が既に出版譜として不完全なものになり、出版社そのものが消滅しているのは、

かの海の組曲と同じ運命にあり、儚（はかな）いというしかない。

マンドリン古典合奏曲集第10集より